



平成24年5月11日

各 位

会 社 名 アサヒホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 寺山 満春
(コード番号5857 東証第1部)
問合先責任者 取締役 東浦 知哉
(TEL.03-6270-1833)

第6次中期経営計画の概要について

アサヒホールディングス株式会社は、このたび2012年からスタートする第6次中期経営計画（2012年4月～2015年3月）を下記のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

第5次中期経営計画期間（2009年4月～2012年3月）においては、初年度に持株会社制による新たなグループ経営管理体制へと移行し、新規事業立ち上げやM&Aなどの成長戦略に積極的に取り組みました。その結果、最終年度（2011年度）に過去最高の売上高と営業利益を達成いたしました。

第6次中期経営計画期間では、貴金属リサイクル事業分野を中心にアジア地域での事業拡大を目指すとともに、環境保全分野をはじめとする幅広い領域でM&Aを推進します。またそれらの発展を支えるため、すべての業務の生産性向上を追求します。

記

1. 連結業績目標

	2012年度 (2013.3期)	2013年度 (2014.3期)	2014年度 (2015.3期)
売 上 高	1,050億円	1,150億円	1,300億円
営 業 利 益	90億円	100億円	115億円
営業利益率	8.6%	8.7%	8.8%

- ・ 2012年度より、貴金属リサイクル事業における売買取引の一部を受託加工取引に切り替えるため、貴金属材料を買い取る従来の形式に比べて、計上される売上高が減少いたします。
- ・ 今後の新規M&Aについては、上記目標数値には含まれておりません。
- ・ 企業価値の持続的向上のため、収益基盤を維持しながら成長戦略投資を行ってまいりますとともに、各年度の配当につきましては、当期純利益の30%～35%を目処として株主の皆様への利益還元を実現してまいります。

2. 新たなスローガンとアサヒウェイ

ACTⅢ, with Asahi Way

- ・ 当社グループの歴史において、1952年の創業から1999年の株式公開までを第一幕（ACTⅠ）とし、株式公開から創業60周年を迎えた現在までを第二幕（ACTⅡ）とすれば、海外事業の拡大を目指す第6次中期経営計画から第三幕（ACTⅢ）が始まります。
- ・ 第6次中期経営計画においては、「アジア地域における事業の拡大」、「M&Aによる事業領域の拡張」、「グループ経営管理の効率化」の3つのACT（行動）に重点的に取り組みます。
- ・ 海外事業の進展やM&Aによる企業集団の拡大に対応し、これまで「経営理念」「行動指針」「倫理綱領」として受け継いできた企業としての思想や社会の一員として守るべき精神を、海外の各地で働く社員にも理解しやすいように「アサヒウェイ」として短く平易にまとめ、多言語で表現しました。

3. 重点施策

①アジア地域における事業の拡大

円高、エネルギー不安、人口減少等の事情から日本国内市場の拡大を期待することができないため、成長著しいアジア地域等海外市場からの貴金属回収を拡大します。現地企業との提携関係の構築等により、顧客や販路の開拓を進めます。

②M&Aによる事業領域の拡張

引き続き投資収益性の高いM&Aを積極的に推進し、環境保全事業など既存事業の拡大のみならず新たな事業領域への進出を目指します。

③グループ経営管理の効率化

事業会社の組織の簡素化により機動性・効率性を高めます。また持株会社にグループ各社の経営管理機能を集め、連結ベースで管理コストを削減します。他方、社内情報システムの抜本的な再構築に投資を行い、スピーディで的確なデータ収集・解析を実現し、経営管理の質を高めます。

以 上